

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス				
教科目名	技術英語	担当教員	柴田明仁 (非常勤)	
学年学科	3年 電気情報工学科	後期	必修	1 単位
学習・教育目標	(C-2) 100%			
授業の目標と期待される効果： 社会生活がどんどんグローバル化されるに伴い、日本語を解さない人やシステムと付き合う機会は確実に増えています。技術者もこのようなグローバリゼーションに身をおくこととなりますが、コミュニケーション手段はほとんどが英語です。本教科では、意志疎通のツールとして英語が使えるよう、より実践的な英語を学習します。 1) 聴く力、会話力の向上 相手の話している事を「聴いて」自分の考えや意志を「言葉で」伝える。 2) 読解力、記述力の向上 技術記事や技術情報を「読んで」それに対する自分の考えを「書いて」発信する。	成績評価の方法： 中間試験 100 点+期末試験 100 点+宿題等 50 点 (12.5 点*4 回) とし、総得点率 (%) によって成績を評価する。	達成度評価の基準： 教科書の練習問題と同レベルの問題を試験で出題し、6 割以上の正答レベルまで達していること。なお成績評価への重みは、①～⑤を各 20%とする。		
	① ビジネス英会話を概ね正確(6 割以上)に聞き取り理解できる。 ② 質問や依頼などを聞いて簡単な英会話や動作などで概ね正確(6 割以上)に応じることができる。 ③ 辞書なしで教科書程度の技術文章が概ね正確(6 割以上)に理解できる。 ④ 教科書程度の一貫した文章が概ね正確(6 割以上)に書ける。 ⑤ 基本的な英文法及び数式・数学表現に関して概ね正確(6 割以上)に理解し、使うことができる。			
授業の進め方とアドバイス： 1 回の講義時間 90 分を 3 セクションに分けて進めます。 ① ビジネスシーン等を題材にした英語のヒアリングとスピーキング演習 (英会話) 又は英語での小討論：概ね20分 ② 教科書を使つての技術英文のリーディング、文法、ライティングの演習：概ね60分 ③ 課題 (宿題) の提示とその解説/数式表現や専門用語の提示と解説：概ね10分				
教科書および参考書： 「技術英語 実践的技術英語テキスト：初期～中級レベル」(津山工業高等専門学校技術英語テキスト編集委員会、電気書院、2010 年 3 月) を教科書として用いる。また以下の参考書等に基づき適宜プリントを作成し、副教材とする。 参考書・・・実践ビジネス英会話 (大島さくら子/スティーブ・バーンズティン ベレ出版 2009 年 7 月) 日本人の英語、実践日本人の英語 (ともにマークピータセン著の岩波新書 2009 年 9 月 25 日、2013 年 4 月 19 日)				
授業の概要と予定：後期				AL のレベル
第 1 回：教科書 L1. 電気工学・コンピュータ」による文法復習、読み/書き訓練。技術英語とは？				
第 2 回：教科書 L2. 機械・制御工学」による文法復習、読み/書き訓練。英会話、数の表現。				
第 3 回：教科書 L3. パソコン」による文法復習、読み/書き訓練。英会話、日付・年号の表現。				C
第 4 回：教科書 L4. 大気汚染と制御技術」による文法復習、読み/書き訓練。小討論				A
第 5 回：教科書 L5. 光電素子」による文法復習、読み/書き訓練。英会話、四則演算の表現。				
第 6 回：教科書 L6. F 1 における空気力学」による文法復習、読み/書き訓練。英会話、冠詞基礎。				C
第 7 回：教科書 L7. オームの法則」による文法復習、読み/書き訓練。小討論。				A
第 8 回：中間試験				
第 9 回：教科書 L8. エアバス対ボーイング」による文法復習、読み/書き訓練。英会話、微積表現。				
第 10 回：教科書 L9. キルヒホッフの法則」による文法復習、読み/書き訓練。英会話、略語表現。				C
第 11 回：教科書 L10. メカトロニクス 1」による文法復習、読み/書き訓練。小討論。				A
第 12 回：教科書 L11. オームの法則とキルヒホッフの法則」による文法復習、読み/書き訓練。英会話、添え字やべき乗等の表現。				
第 13 回：教科書 L12. 宇宙ゴミ問題」による文法復習、読み/書き訓練。英会話、電通情学会誌記事。				C
第 14 回：教科書 L13. 交流回路」による文法復習、読み/書き訓練。小討論。				A
期末試験				
第 15 回：期末試験の解説。「エンジニアのための伝わる技術英語」紹介。 教科書 L14. メカトロニクス 2」による文法復習、読み/書き訓練。				

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 (優)	標準的な到達 レベルの目安 (良)	未到達 レベルの目安 (不可)
①	まとまりのある英語を聞いて、全体の概要や要点を適切に聞き取ることができる。 まとまりのある英語を聞き、概要（話された内容のあらまし）を理解することができる。	定型のビジネス英会話を概ね正確(6割以上)に聞き取り理解できる。	定型のビジネス英会話を正確に聞き取ることができない。
②	与えられた状況に対して、自分の意見や主張をまとまりよく話すことができる。 自分の意見や主張を理由や具体例などと共に英語で話すことができる。	質問や依頼などを聞いて簡単な英会話や動作などで概ね正確(6割以上)に応じることができる。	質問や依頼などを聞いても、簡単な英会話や動作などで正確に応じることができない。
③	話の内容や書き手の意見などを批判的に読むことができる。 書かれた内容や意見に対し感想や意見などを持つように読むことができる。	辞書なしで教科書程度の技術専門用語や慣用表現が入ったビジネス文書や技術文書を概ね正確(6割以上)に理解できる。	辞書を使っても教科書程度の技術専門用語や慣用表現が入ったビジネス文書や技術文書を理解できない。
④	与えられたテーマについて、立場や意見を表明するとともにその理由を論理的にかつ時間的に順序立てて表現することができる。	教科書程度の一貫したビジネス文書や技術文書に対して自分の意見を英語で概ね正確(6割以上)に表現できる。	教科書程度の一貫したビジネス文書や技術文書に対して自分の意見を英語で表現できない。
⑤	学会英文論文レベルの数式／数字記述を詰まらずに音読できる。	基本的な英文法及び数式・数学表現に関して概ね正確(6割以上)に理解し、使うことができる。	基本的な英文法及び数式・数学表現に関して正確に理解し使うことができない。